

相談支援つうしん

県立湘南支援学校
支援連携グループ
相談支援班 第2号
令和5年5月23日(火)

新緑の美しさに目を見張りますね。一方では、ツバメが飛びもう紫陽花の花芽がちらほら見え隠れしています。いつもより早い季節の訪れにちょっと戸惑いを感じますね。



さて、まずは支援連携グループの進路支援の宣伝をさせていただきます。

今年も「湘南ひらつか福祉事業所合同説明会」を実施いたします。

日時 5月24日(水) 10時から13時まで **事前予約の必要なし お気軽にどうぞ!**

場所 トッケイセキュリティ平塚総合体育館 (2時間まで駐車場無料)

内容 ①事業所ごとに個別説明を実施 (約40カ所 初参加の事業所も増えました!)

②障がい福祉課による福祉サービス学習会

③平塚年金事務所による障害者年金の学習会

④その他相談可能(福祉相談・教育相談・進路相談等)

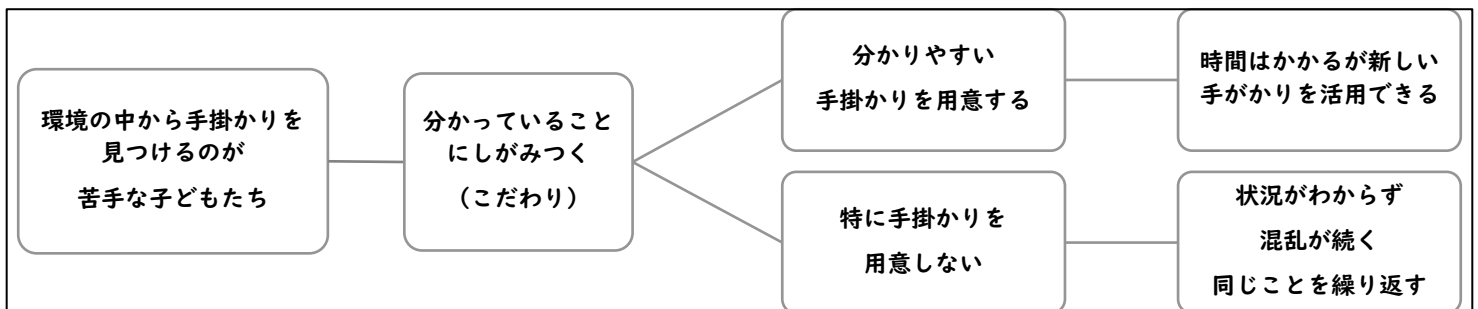
お願い 以前お配りした情報冊子をご持参ください。

「2023 湘南ひらつか福祉事業所合同説明会見学会 福祉事業所一覧」

福祉サービスや子育てに関わるお得な情報が盛りだくさんです。ぜひ皆様奮ってご参加ください。


それでは、本題の「相談支援つうしん」についてです。今年度は「自立と社会参加をテーマ」に子どもたちの学校の生活の中から見えてくる課題や成長の場面等についてお伝えしていきたいと思えます。

今回は「手がかりを見つけることが苦手」をテーマにお伝えします。



新学期になり、以前の教室に行ってしまう生徒がいました。それまで毎日通っていた教室は、今は下級生の教室。どうしてもその教室に入って「ここは自分の教室だ!」と周囲を必死に見回しています。しかし「あれ?なんか違うな?」先生や友達の声や姿に戸惑います。その生徒は過去のエピソードや空間の記憶を手掛かりに、自分の教室を探していました。「ここじゃないよ」と言われても中々納得できません。そこで次の日、担任はその生徒が自分の教室をイメージするもの「大好きな〇〇ランドの写真カード」を用意して教室の出入口に貼りました。同じクラスの担任も同じカードを小さくして持ち歩き移動する際に手掛かりとして見せていきました。すると、この生徒は〇〇ランドの写真集のカードを手掛かりに混乱なく教室に行くことができるようになり写真カードを教室のシンボルとして使えるようになりました。

各学部学年によっても違いがありますが、教室の入り口には、1年1組といった具合に、掲示された教室のネームプレートがあります。入口の扉には、クラスメートの名前が貼られているので、自分の名前を見つけて自分の教室を判断します。

小学部の1年生の教室を例に挙げると教室の扉には、 おひさまマークが貼ってあります。教員たちは自分の教室は「〇〇」という教室のシンボルを子どもたちに繰り返し指差しして提示していきま。これを手掛かりに子どもたちは自分の教室に入ってくようになります。

私たちがホテルで「702号室」と言われてエレベーターに乗り「7」のボタンを押し、「702」を探して歩きます。数字や文字は、生活していくうえで大きな手掛かりになります。しかし、数字や文字はとても抽象的なものなので、理解するまでに学習内容を細かくステップを踏む必要があります。まずは実物、小型サイズの物、写真、絵カード、文字や数字といった具合に具体的な物から抽象的な物へと学んでいきます。（個別学習などはその学びの一つです）

普段の生活の中（環境）で、手掛かりを見つけるのが苦手な子どもたちにとって、関わる大人は本人にわかりやすい手掛かりを探し出して提示します。子どもは、その手掛かりを活用できるようになることで、生活の質を上げ生活しやすくなると考えます。それは、個別教育計画にも記載し普通の授業を通して行っています。

日々の生活の中で、手掛かりをうまく見つけられる工夫を探しこれからも取り組んでいきたいと思ひます。



【ちょっと休憩】

「私の家族」について今年度も引き続き少しお話させていただきます。

「母のマイナンバーカード」申請の巻。。

施設入所をしている母のマイナンバーカードの申請について、「まあいいか」と先送りにしていた私。しかし、TVで『政府は、現在使われている健康保険証を2024年の秋に廃止し、マイナンバーカードへ一体化した形に切り替える』と発表したので、「う～ん、それならまだマイナポイント（最大20000ポイント）が付くうちにカードをもらっておくか。。」と重い腰をあげることにしました。

まずは、私のスマートフォンでアプリ（マイナポータル）を立ち上げ、母のマイナンバーカードの申請を行いました。母の写真をちょっと加工し画像を取り込み無事申請完了。（家族の申請が可能でした）

1～2ヵ月位して「マイナンバーカードができましたから取りに来てください」というお手紙が市役所から届きました。母と正月休みの時に取りに行く予定でしたが、色々あって取りに行けなくなり、市役所に連絡をすると、施設入所中の母の代理として娘の私が取りに行くには、別の手続きが必要とのことと、その説明を受けに市役所に行きました。市役所の方から、施設側に記入してもらう用紙や施設利用領収書、母の写真、他にも諸々の必要書類等、丁寧に説明してもらいました。その後、母との面談時に母自身が書く書類を下書きしたり、4桁の暗証番号等を決めたりしながら全ての書類を準備できました。

無事書類の準備を整え、市役所に再び行くと思ひのほか早く手続きは終わり、晴れて母のマイナンバーカードを受け取ることができました。「イエーイ！よくやった、私!!（心の叫び）」

しかし、マイナポイントの紐付けが。。母はクレジットカードを持っていないので、「どうしたものか？」と市役所の方に相談すると、紐付けできるカードの一覧表を紹介してくれました。すぐに□□マートに行つて、母親のnana△△カードをつくり、家に帰つてからスマートフォンでマイナポータルのアプリから母のマイナンバーカードを読み取り、無事に母親のnana△△カードにマイナポイントを入れることができました。「うあー、よく頑張つた私!!すご～い、えら～い」と自分をほめてあげました。めでたしめでたし。

段々とマイナンバーカードの利用が求められるようになってきています。ちなみにマイナポイントは、今年の9月末まで延長になったようです。市役所には親子で来られている方や多くいらっしゃっていました。

「手続きは面倒だ」と思ひことが多いものですが、「謎解きのようなだ」と考えるようにしています。一つひとつ謎解きのように課題をクリアして、最後に解決!! スッキリして、ドーパミン全開! 今回もそんな気分でした。（なお、申請等の詳細については各市町村にお問合わせください）

文責 橋爪

